

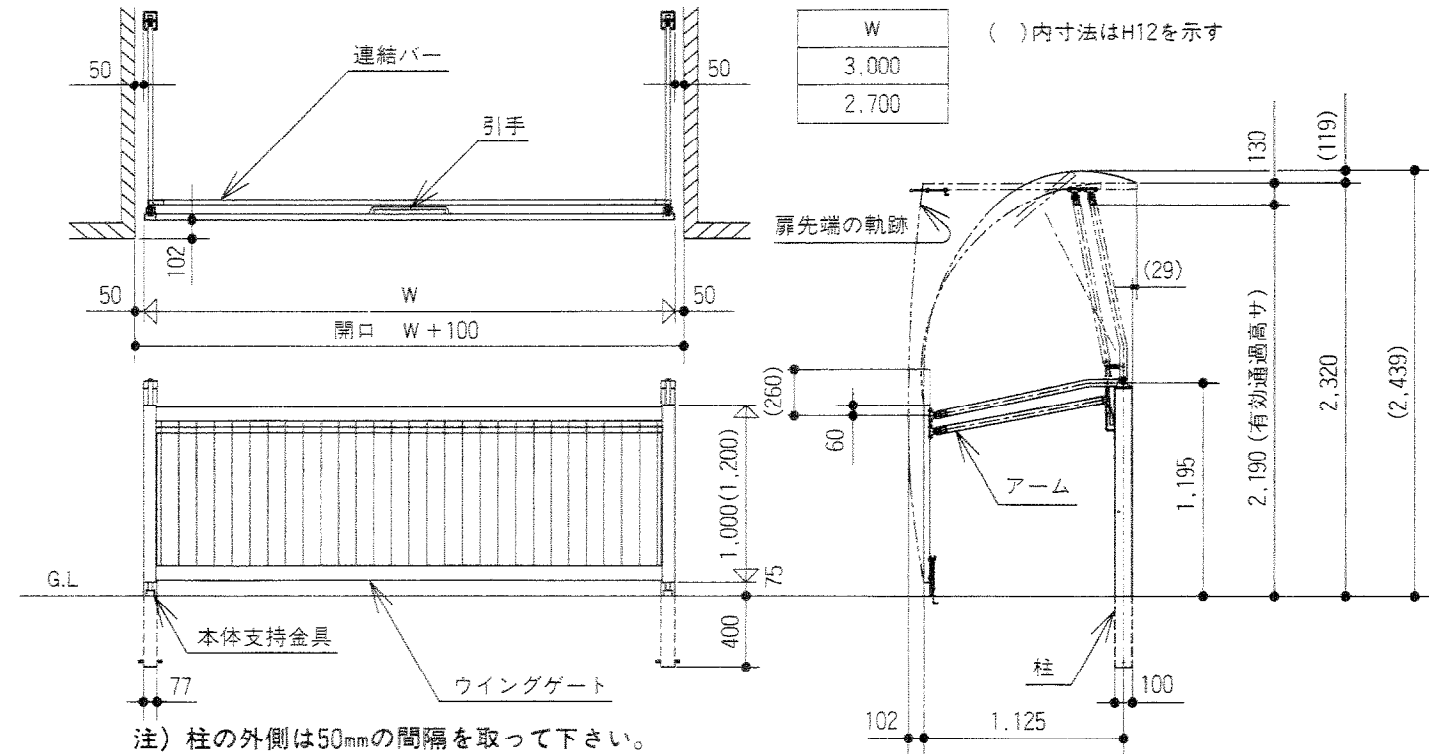
新日軽 門扉 ウイングゲートハイルーフ 取付説明書

取説番号 ME-204改4

はじめに

当社ウイングゲートは特殊なリフト機構を採用しており、アームの回転半径による扉の飛出しは102mmになって居ります。

単独納まり図



注) 柱の外側は50mmの間隔を取って下さい。

組合せ表

施工する前に本体と柱と連結部材の組合せを、お確かめ下さい。

本 体	柱	連結部材	本 体	柱	連結部材	本 体	柱	連結部材
A型	WA (H/S) 3010/2710	WLPC (H/S) 1	D型	WDS 3010/2710	WLPC (H/S) 1	F型	WF 3012/2712	WLPD1
	WA (H/S) 3012/2712	WLPC (H/S) 1		WDS	WLPC (H/S) 1		WFH 3012/2712	WLPDH1
B型	WB 3010/2710	WLPD1	E型	WE 3010/2710	WLPA1	G型	WG (H/S) 3010/2710	WLPD (H/S) 1
	WB (H/S) 3010/2710	WLPD (H/S) 1		WEH 3010/2710	WLPAH1		WG	
				WE 3012/2712	WLPA1		H型	PEA (H/S) 3010/2710
		WEH 3012/2712	WLPAH1	PEA (H/S) 3012/2712	WLPC (H/S) 1			
C型	WCH 3010/2710	WLPDH1	F型	WF 3010/2710	WLPC1	J型	PEB (H/S) 3010/2710	WLPC (H/S) 1
	WCH 3012/2712	WLPDH1		WFH 3010/2710	WLPCH1		PEB (H/S) 3012/2712	WLPC (H/S) 1

梱包明細

組立の前に部品の数量をお確かめ下さい。

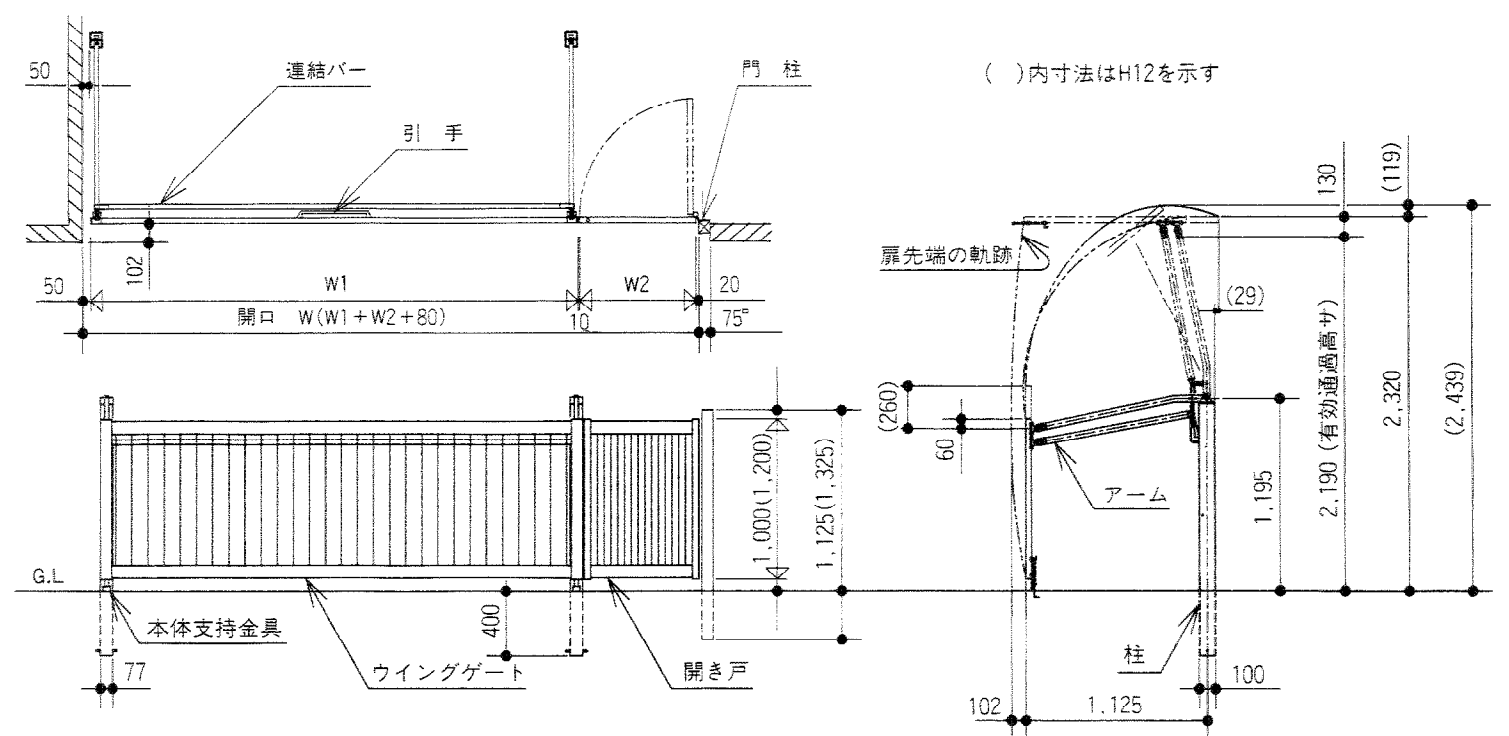
扉	名称	数量	名称	数量	柱	名称	数量	
セ	扉 本 体	1	穴 フ サ ギ	4又は8	柱	左	1	
ツ	連 結 バ ー	1	4×10トラスタッピン	4	セ	柱	右	1
ト	縦 枠 キ ャ ッ プ	4	引 手 セ ッ ト	1又は3	ツ	本 体 支 持 金 具	2	
					ト	埋 込 金 具	1	
						フ ッ ク 棒 セ ッ ト	1	

連結部材	名称	数量
セット	連結バー	1

施工上の注意事項

- 新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。
- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
 - ②モルタルやコンクリートの抽出液が工中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
 - ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
 - ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

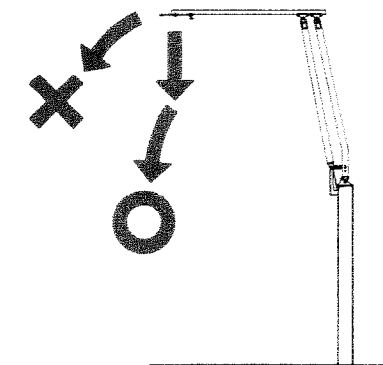
開き戸付納まり図



注) 柱の外側は50mmの間隔を取って下さい。

御使用方法

1. 扉を持って、上に力を加えることにより扉が開けられます。
 2. 引手を持って、扉の先端を真下に引下げることにより、アームが回転し扉を閉じられます。
- 注) 必ず扉の先端を真下に引下げてからアームを回転させて下さい。
3. 埋込金具のリングをL型ボルトに掛ると容易にロックできます。又市販の南京錠で支持金具と埋込金具との間で施錠できます。



ご使用上の注意

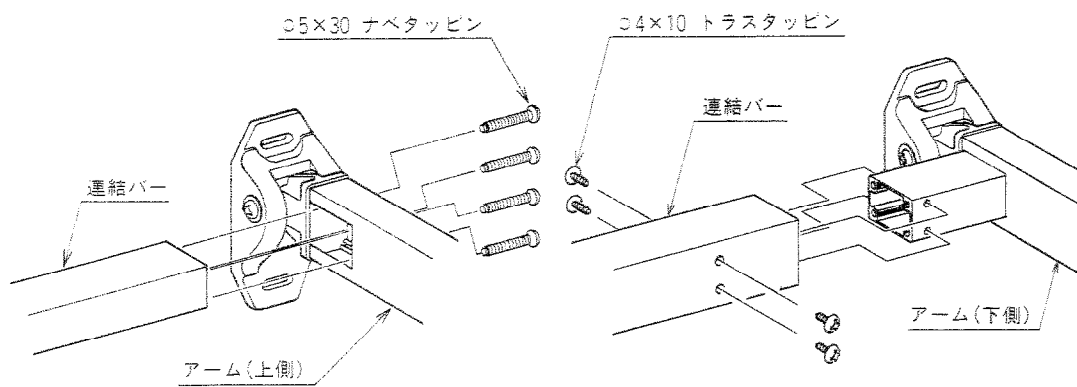
1. 扉の先端を真下に引下げないでアームを回転させることは機構上できませんのでご注意ください。(左図参照)
2. 扉に乗ったり、ゆすったりして遊ばないよう特にお子様に注意して下さい。
3. 扉の開閉は静かに行なって下さい。
4. 扉を施錠した状態で無理に力を加えないで下さい。

組立説明図

取説番号 ME-204改4

1 組立手順

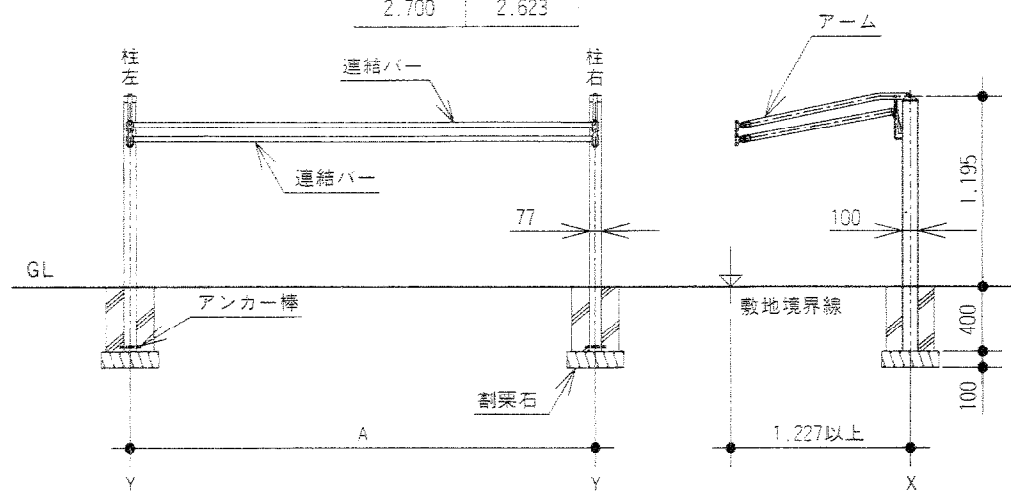
1 連結バーの取付け



- 1) 必ず柱を埋込む前に取付けて下さい。
- 2) 連結バーを左右の取付け部に差し込みビスで固定して下さい。
- 3) 上側連結バーは別梱包になって居ります。
- 4) 下側連結バーは、扉本体に梱包されています。

2 柱の埋込

W(扉巾)	A
3,000	2,923
2,700	2,623



- 1) 基礎用の穴を掘り、割栗石を敷いて下さい。
 - 2) 柱にアンカー棒を差し込み、基礎穴に建て込んで下さい。
 - 3) 埋込位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、たる木などで固定しコンクリートを流し込んで下さい。
- 注) 1. G.L.表示マークが家側になるよう建て込んで下さい。
2. 柱はX及びY方向の水平レベルを十分チェックして下さい。

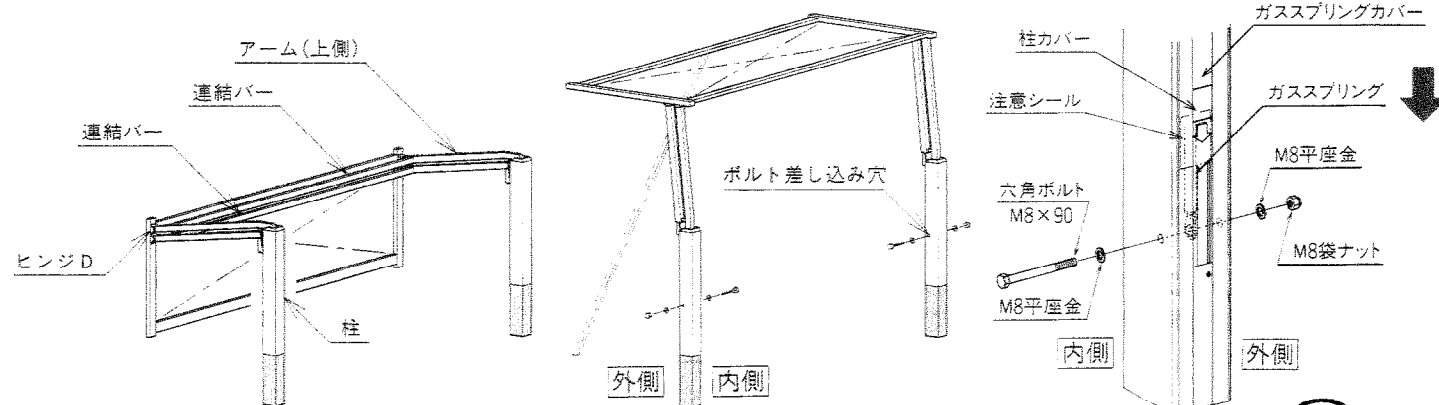
3 扉本体の取付け手順

基礎コンクリートが固まったことを確認し、扉を取付けて下さい。各部分の組立・取付けは右項を御覧下さい。

- 1) ヒンジDにて扉をアームに組付けて下さい。
- 2) 扉をアームが回転しなくなる位置までもち上げて、角材等で倒れないようにして下さい。
- 3) ボルト差し込み穴にドライバー等を使って柱の穴と、柱内のガススプリングの穴を合わせてからボルトを差し込み、袋ナットを締め付けて下さい。

その後注意シールを剥し、柱カバーを引き下げて、ガススプリングが見えなくなる様に、セットして下さい。

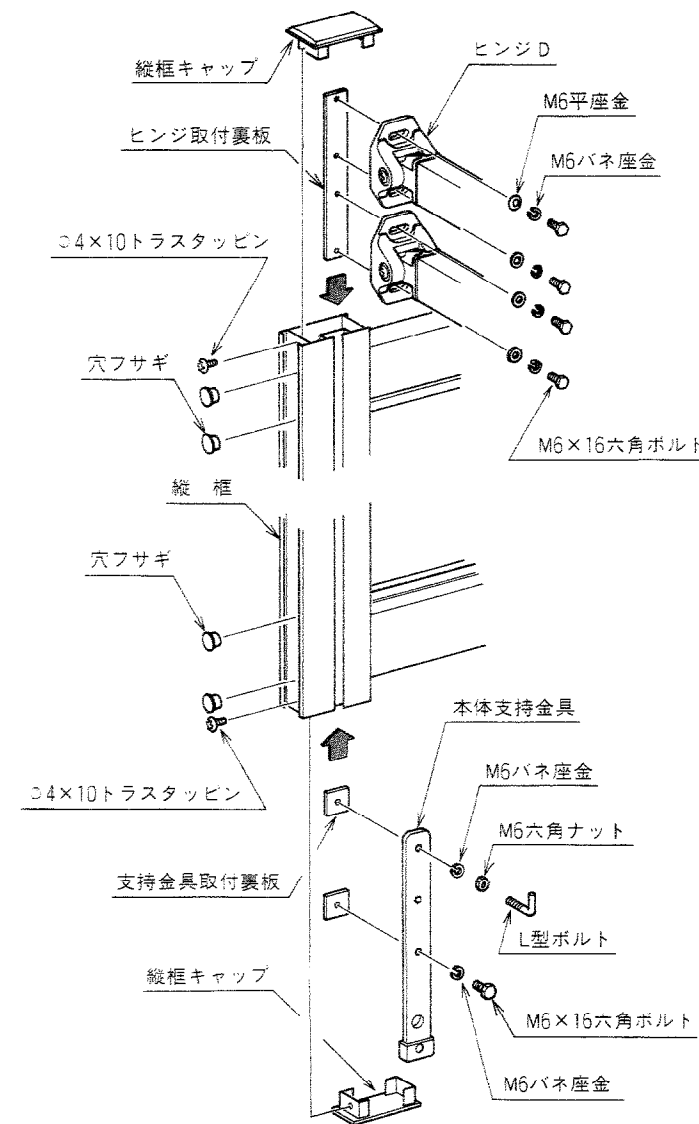
【注意】 ボルト差し込み時にガススプリングのロッドにキズをつけないで下さい。ガス漏れの原因になります。尚ボルトは柱内側より、外側に向かって必ず差し込みセットして下さい。



2 各部品の取付け

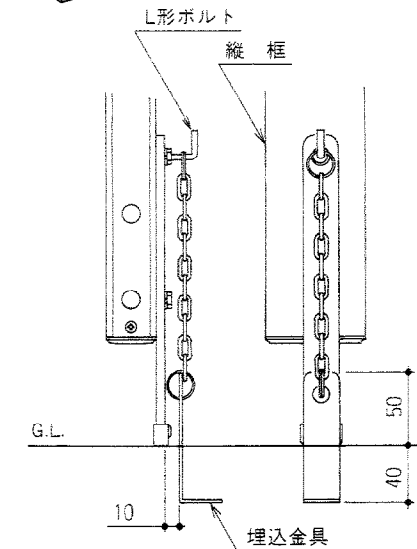
■ ヒンジ・支持金具の取付け

- 1) 仮組しているヒンジD、及び本体支持金具のボルトをゆるめ縦框に差し込んで固定して下さい。ヒンジの固定位置は右図を参照して下さい。(この時扉の上下を確認してから取付けて下さい。)
- 2) 縦框キャップ、穴フサギを取付けて下さい。

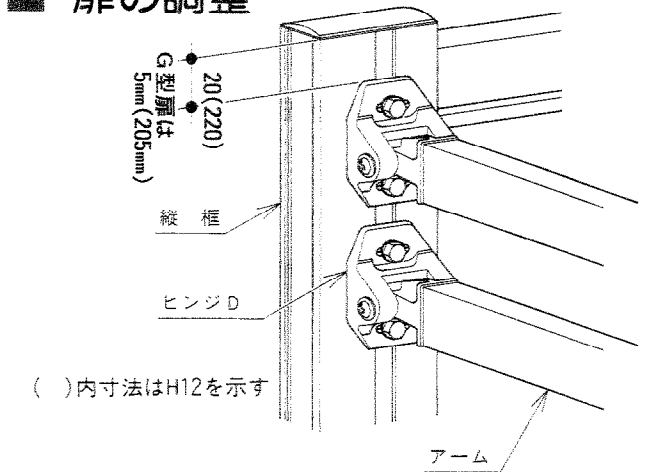


■ 埋込金具

埋込金具を埋込んで下さい。埋込金具のリングをL形ボルトに掛ると容易にロックできます。又、市販の南京錠で支持金具と埋込金具の間で施錠できます。



■ 扉の調整

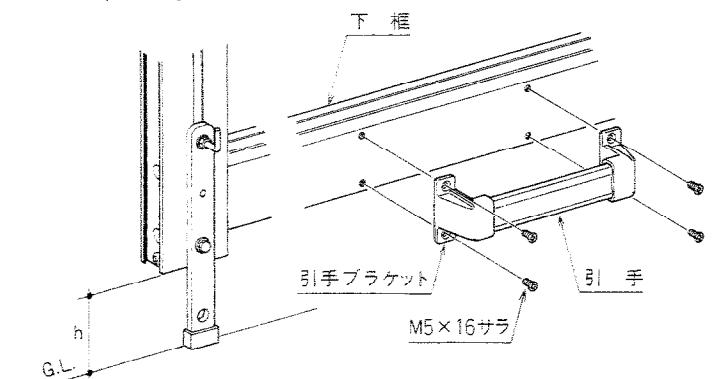


()内寸法はH12を示す

注) 扉の水平・左右調整はヒンジDのボルトをゆるめて調整して下さい。

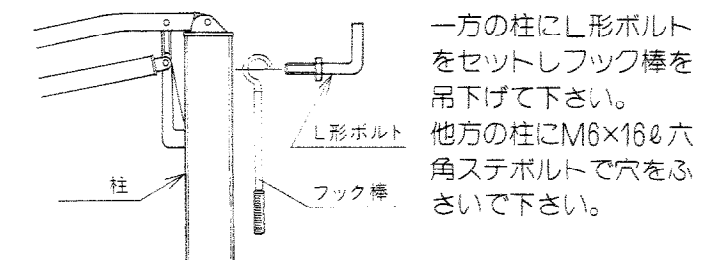
■ 引手の取付け

引手両端にブラケットを差し込み皿ビスで取付けて下さい。



注) 本体支持金具を施工面と扉の距離に合わせて調整して下さい。(hは50~130まで調整可能です。)

■ フック棒の取り付け



一方の柱にL形ボルトをセットしフック棒を吊下げて下さい。他方の柱にM6×16の六角ステボルトで穴をふさいで下さい。

■ 施工後の確認

ねじ、ボルトの締め具合をもう一度確認して下さい。

■ おわりに

以上で取付けは完了ですが、お客様に正しく取扱っていただくために、施工完了後に、使用方法、使用上の注意等をお客様に説明して下さい。